

進路だより

〈第7号〉

令和4年11月18日発行

須賀川創英館高等学校進路指導部

大学入試始まる

現在3年生は、次々と総合型選抜や推薦入試に挑んでいます。小論文指導や面接指導を受け、着々と受験の準備を進めてきました。何度も小論文を書き直す姿や、積極的に面接練習をお願いする姿が見られました。努力が実り、すでに合格を勝ち取った人もいます。これから入試を迎える人は、先輩方が残してくれた受験レポート（進路室の印刷機側に置いてあります）に必ず目を通しておきましょう。進路室には受験レポートの他にも入試に関する書籍がたくさんあります。例年どんな問題が出され、どんな質問がされているのか、傾向をつかむためにも、必ず目をとおしてみましよう。貴重な情報が得られるかもしれません。



11/10 ビジネスマナー講座

合格通知を受け取ったら

- ・小論文・面接・志望理由書等で指導していただいた先生、進路指導部長・教頭先生・校長先生に合格の報告を行いましよう。
- ・入学前の課題を出す学校や、オリエンテーション・事前学習会を行う学校があります。書類をしっかりと確認し、忘れずに必ず提出・参加するようにしてください。
- ・合格したからといって、そこで高校生活が終わるわけではありません。推薦された人物としてふさわしい行動を、今まで以上にとるようにしてください。日々の学習もしっかりと続けましよう。

第2回進路希望調査

※第2回目は、1・2学年のみ実施。

	進学				就職		未定
	国公立大	私立大	短大	専門学校	県内	県外	
1年	31	35	10	51	25	4	35
2年	11	39	17	58	38	6	21

未定とつけた人は、大学に進学するか専門学校に進学するかを迷っているようです。希望する分野の学校についてよく調べ、なるべく早く進むべき方向を決めましよう。進路室の資料も、ぜひ活用してください。大学や専門学校のパンフレットがたくさん届いています。

期末考査へ向けて

2学期の期末考査は、11月24日から11月29日までの4日間です。2学期の成績に大きくかわかるテストですので、しっかりと対策をしましよう。

- ・毎日の授業に集中する。学力差は授業の集中力の差と言われています。その授業のポイントとなるところを、自分で的確に説明することができるでしょうか。同じ空間で同じ時間を過ごしても、意識の違いで結果は大きく異なります。また、その日のうちに復習することで、学習内容を忘れにくくなります。ちなみに、1日経つと学習したことの半分程度は忘れてしまうそうです。
- ・机に向かう習慣をつける。「やる気が出ないからできない」と言う人もいますが、おそらく、やる気はなかなか出てきません。最初は、30分だけでも良いので、「何時になったら机に向かう」と決めて生活してください。「分かる」が増えてくると勉強が楽しくなります。楽しくなるとやる気も出てきます。
- ・自分で考える姿勢を大切に。分からないところがあると、すぐに答えを見てしまう人は点数が伸びません。自分で考え、反復して学習することで解き方が記憶されていきます。速く正確にできるようになるまでがんばってみましよう。
- ・ノートや教科書を「見る」だけではダメです。何度も書いて覚えましよう。さらに声に出しながら書くなど、五感をより多く使うことをお勧めします。ただ、何回書いたから満足ということではなく、あくまでも「できるようになったか」を確かめながら進めてください。
- ・スマートフォンやマンガなど自分が興味をひかれるものを、すぐ手が届くところに置かないようにしましょう。気になり、学習に集中できないことがあります。

大学入学共通テスト

大学入試センターから令和7年度の大学入学共通テスト「各教科・科目の問題作成の方向性」が公表されました。7科目型平均が5割になるように作問されているので、6割であったセンター試験の頃と比べると、難易度があがっているようです。大きな変更点がないものの、国語は大問数が4大問から5大問に増え、近代以降の文章が3問110点、古典が2問90点（古文45点、漢文45点）となりました。また、情報から新しくなる情報Iは、全問必答の4大問構成で、前回発表のサンプル問題（令和3年3月24日公表）からは1大問増加しました。学んだことを活用して答える問題が多くなっているようです。

ベネッセの「高大接続の視点で見直す2025年度入試」というオンラインセミナーでは、幅広い基礎学力と主体的に学ぶ姿勢（言われてからやるのではダメ）が必要との話がありました。大学側からすると、暗記すればできるという入試は阻止したい、大学ではゼミが重視されるので、主体的に学ぶ力がある人に入学してほしいとのことでした。